

清水雪翁 せみづ 儒者。安政五年（二月七日武藏國北埼玉郡下河辺郡形生
れ（一八五一年））。諱宗禮、字士和。號靜脩。明治二年藩學培根堂に就學
し、のち中村敬宇に師事する。享九年。また重野成齋に史學を、大沼枕
山、小野湖山に詩を學ぶ。二十四年家塾成溪書院を用き、經史の文章を
教授、授業生千五百餘人に及んだといふ。

著述中『北武八志』（明治四十年十月十七日埼玉・川島書店）刊。

